

さわやかワークセンター

平成 31 年度（2019 年度）事業計画

1. 運営方針

就労に向け、希望を失わず、1人ひとりが明るくさわやかに作業や訓練に取り組み、自信をもって就労に踏み出し、仕事を続けながら地域で暮らし続ける場と機会を提供します。

2. 職員等配置計画

職員 11名 非常勤職員 21名 合計 32名

3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項（1）質の高い支援（虐待防止、権利擁護）			取組時期
1	就労や地域生活の安定を目指して関係機関との連携を強化し「切れ目のない支援」を実現する。	内容 計画相談(さんさん幸陽)、就労支援センター、ハローワーク、就労促進担当者会、就労移行支援事業所連絡会等との連携、就労移行支援新規利用者開拓の取組み	通年
2	持続的 생활が可能な収入(就労賃金・工賃)の確保	内容 受託事業の安定運営、ペーパーラボ作業受託開始、共同受注作業受託開始	通年
3	生活の場の確保と個別支援の実施	内容 グループホーム、1人暮らしをしている方の地域生活支援、利用者の特性、年齢等に合わせた個別支援の実施	通年
4	飲食事業の拡大	内容 Cafe Cosmo 事業拡大、ティーラウンジすばる営業開始	通年
法人重点推進事項（2）活力ある組織・経営基盤づくり			
5	公益的取組の拡充	内容 規格外農作物活用を含めたフードバンク事業、中間的就労受入	通年

4. 利用者受入・工賃計画（4月1日現在）

在籍	52名 就労継続支援B型 43名 就労移行支援 9名	新規利用者	3名 就労継続支援B型 0名 就労移行支援 3名	定員	40名 就労継続支援B型 34名 就労移行支援 6名
年間開所日数	250日	利用率目標	82%（昨年度比1%アップ）		
目標平均工賃（B型）	45,000円	前年度上期平均工賃（B型）	35,496円		

5. 年間行事計画（詳細別紙）

4月	樹林館との合同花見	10月	
5月		11月	研修旅行
6月		12月	
7月		1月	新年会(成人・還暦祝)
8月	健康診断	2月	
9月	蓮沼ふれあい祭	3月	就労を祝う会

6. 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	地域まつり	第12回蓮沼ふれあい祭参加
2	フードバンク	あうん、セントハーベストと連携し、生活困窮者へ食糧提供を実施
3	コミュニティスペース運営	食堂スペースを「コミュニティスペース茶和や」としてふれあいはすぬま利用者など地域の方々に開放
4	中間的就労支援	JOBOTAと連携し、中間的就労受入を行う

7. 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	地域交流・連携	事務局として蓮沼ふれあい祭、地域防災パトロール参加、西蒲田二・三丁目自治会防災活動拠点会員として会議、防災訓練等参加
2	福祉人材受入	相談援助実習・中学生職場体験・ボランティア受入
3	広報活動等	広報誌を年6回発行。適宜、ポスターちらし配布、ホームページの更新

8. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(*事業所計画)

目的：「一般相談を志向したコーディネーター」の実践を推進する。

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	OJT体制の整備や、チェックリストの活用による業務能力向上。事例検討の推進
2	外部研修	職層スキル・職員個別ニーズに合わせた研修、就業支援基礎研修参加
3	自己研鑽支援	資格取得支援制度の周知徹底。外部研修の情報提供、書籍等の購入や回覧

9. 権利擁護・虐待防止の取り組み

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	「徹底した現場主義の事例検討を軸とした（寄り添う）伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」 * 「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 * 「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応

10, 法令遵守に関する取り組み

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応
2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携

11, 危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	防災関連	定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練 地域防災訓練に参加
2	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応

12, その他

- ・ 30年度第三者評価の結果を基に、業務の改善、定着を行う。